

主催  
相馬クニコル /  
3がつ11にちをわすれないためにセンター  
(せんだいメディアテーク)

## 相馬クニコル

相馬高校放送局の震災後制作の映像上映を主たる目的とした任意団体です。相馬高校放送局は日本ジャーナリスト会議特別賞を高校生として初めて受賞するなど、国内外で高く評価されています。

### 3がつ11にちをわすれないためにセンター

せんだいメディアテークが、市民、専門家、アーティストと協働し、震災とその復旧・復興のプロセスを独自に記録・発信していくため、2011年5月3日に始めたプラットフォームです。参加者は、個人個人が体験した震災を映像、写真、音声、テキストで記録します。それらの記録は、「震災の記録・市民協働アーカイブ」として整理・保存され、さまざまな形で利活用されています。

<https://recorder311.smt.jp/>



## せんだいメディアテーク

〒980-0821

仙台市青葉区春日町 2-1

tel 022-713-4483 / fax 022-713-4482

mail: [office@smt.city.sendai.jp](mailto:office@smt.city.sendai.jp)

<https://recorder311.smt.jp/>



●地下鉄 南北線勾当台公園駅から徒歩 6 分／東西線大町西公園駅から徒歩 13 分 ●バス 仙台市営バス 仙台駅前 -60 番（仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央 2」出口前）のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行き（系統番号が J または X で始まるバス）で約 10 分、メディアテーク前下車。

※この用紙はリサイクルできます

対話の場



高校生が  
とらえた  
福島

## 第 5 回

「フィクションで伝える（震災）」

2019

9/29 (日) 14:00-16:00

せんだいメディアテーク 7f  
プロジェクトルーム

入場無料／申込不要／直接会場へ



せんだいメディアテーク  
sendai mediatheque

# ○相馬ク◇ニクル△ダイア□ク※

## 「フィクションで伝える（震災）」

震災後、震災の状況やそこで暮らす人びとの想いを映した、多くのドキュメンタリー作品が生まれました。その一方で、震災に関してストレートに伝えるということは年々むずかしくなっています。そして、震災という事象が日常から見えにくくなるなかで、少しずつではありますが、震災に関わるフィクションも増えてきているように思われます。

相馬高校放送局では、震災直後より震災に対する自らの声を届ける手段として、フィクションにも取り組んできました。今回は、2012～2014年に制作されたフィクション作品を通して、フィクションだからこそ伝えられることは何なのか、彼・彼女らがフィクションに託した想いとは何なのか、改めてみなさんと考えてみたいと思います。

## 上映作品

### (non) fiction

(音声ドラマ／2012年／8分)

### ボロボロな…

(音声ドラマ／2013年／8分)

### キレイになりたくて

(音声ドラマ／2014年／8分)

## 相馬クロニクルダイアログ

相馬高校放送局の震災後制作の映像上映を主たる目的とした任意団体「相馬クロニクル」の音声・映像作品に見られる福島県の高校生の震災や原発事故に対する想いから、私たちの暮らしやこれからのことを話す対話の場です。